



## 2019年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年3月11日

上場会社名 コーセル株式会社  
 コード番号 6905 URL <https://www.cosel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 小西 有吉

TEL 076-432-8151

四半期報告書提出予定日 2019年4月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年5月期第3四半期の連結業績(2018年5月21日～2019年2月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	21,422	9.2	3,049	14.6	2,993	18.0	1,952	23.2
2018年5月期第3四半期	19,626	19.7	3,570	44.1	3,651	39.9	2,543	38.4

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 1,754百万円 (37.0%) 2018年5月期第3四半期 2,782百万円 (37.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	54.33	
2018年5月期第3四半期	70.76	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第3四半期	45,099	40,398	89.5	1,127.88
2018年5月期	45,137	40,041	88.7	1,113.23

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 40,362百万円 2018年5月期 40,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		16.00		16.00	32.00
2019年5月期		17.00			
2019年5月期(予想)				11.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年5月21日～2019年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	10.9	3,800	19.2	3,840	20.4	2,550	21.8	70.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期3Q	37,212,000 株	2018年5月期	37,212,000 株
期末自己株式数	2019年5月期3Q	1,425,997 株	2018年5月期	1,267,296 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期3Q	35,938,686 株	2018年5月期3Q	35,944,720 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は総じて堅調に推移しましたが、第3四半期会計期間に入り、米国と中国を中心とする貿易摩擦問題の影響拡大に伴い、中国経済の減速が顕在化したことにより、わが国を含めたアジア経済及びヨーロッパ経済も景気減速傾向が見られました。米国経済は堅調を維持しておりますが、不安定な世界経済を受け、先行きには不透明感が強まっています。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォン市場の成熟化やデータセンター関連投資の陰りによる半導体製造装置の設備投資調整が進み、減速傾向が強まりました。

このような情勢の中で当社グループは、営業－開発部門の連携を強化しつつ、新製品を軸とした重点顧客への提案活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、小型・高速応答の非絶縁型DC－DCコンバータ（POL）「BRFSシリーズ」拡充モデル、大電力・高効率パワーモジュール電源（安定型バスコンバータ）「CHSシリーズ」拡充モデル、小型汎用DC－DCコンバータ「MGX」シリーズをそれぞれ市場投入いたしました。

生産面では、生産能力の増強に取り組んできた結果、納期対応力が向上しました。

なお、連結子会社 Powerbox International ABの本社事務所（スウェーデン、グネスタ）において、2018年9月に発生した火災事故による棚卸資産及び有形固定資産の焼失損として、1億40百万円を特別損失に計上しております。また、この火災損失にかかる保険金収入として、1億24百万円を特別利益に計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は172億10百万円（前年同期比25.2%減）、売上高は214億22百万円（同9.2%増）となりました。利益面におきましては、経常利益が29億93百万円（同18.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億52百万円（同23.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①日本生産販売事業

日本国内では、顧客・販売店の在庫及び発注調整と半導体製造装置関連で顧客の設備投資の延期の影響が重なり、需要の減少が続いております。

このような情勢の中、営業－開発部門の連携を強化し、新製品の拡販活動に注力するとともに、新規顧客の開拓、重点顧客の深堀活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、142億78百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は27億47百万円（同10.6%減）となりました。

## ②北米販売事業

米国では医用機器関連は好調に推移し、一般工作機器の需要が回復基調に転じましたが、半導体製造装置関連の需要減が続いております。

このような情勢の中、ファクトリーレップとの連携活動に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、18億51百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は2億36百万円（同55.1%増）となりました。

## ③ヨーロッパ生産販売事業

当該セグメントは、第1四半期連結会計期間にPowerbox International ABの株式取得を行い、新たに連結子会社化したことに伴い、報告セグメントを「ヨーロッパ販売事業」から「ヨーロッパ生産販売事業」に変更しております。

ヨーロッパでは、上半期まで全般的に好調に推移しておりましたが、第3四半期会計期間に入り、中国の景気減速の影響でドイツを中心に需要調整が入りました。

このような情勢の中、重点ディストリビューターとの連携を強化し、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

セグメント業績は、Powerbox International ABの買収により同社及びその子会社の業績を取り込んだことにより、売上高は大幅に増加した一方で、売上原価、販売費及び一般管理費の増加および買収に関連して発生したのれんの償却負担等の影響から減益となりました。

この結果、外部顧客への売上高は、33億円（前年同期比340.3%増）、セグメント損失は1億99百万円（前年同期はセグメント利益9百万円）となりました。

④アジア販売事業

アジアでは、顧客・販売店の在庫及び発注調整、半導体製造装置関連の設備投資延期、中国経済の減速の影響によって、需要の減少が続いております。

このような情勢の中、ターゲット業界・顧客を絞り、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、19億92百万円（前年同期比14.5%減）、セグメント利益は81百万円（同25.0%減）となりました。

⑤中国生産事業

中国生産事業においては、品質管理体制の強化と生産性向上活動および部材調達力強化を進めてまいりました。生産性向上活動では、目視検査工程と部品挿入工程の自動化を推進してまいりました。

この結果、セグメント間の内部売上高は、8億37百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は1億55百万円（同23.3%減）となりました。

なお、参考までに記載すると製品別の業績は、次のとおりであります。

1) 受注高及び受注残高

	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2019年2月20日)		当第3四半期連結会計期間末 (2019年2月20日)	
	受注高 (百万円)	対前年同期増減率	受注残高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品				
ユニット電源	9,528	△33.1%	2,365	△51.4%
オンボード電源	4,989	△35.1%	1,767	△45.0%
ノイズフィルタ	712	△34.3%	117	△51.1%
P R B X製品	1,980	—	2,173	—
合計	17,210	△25.2%	6,425	△22.8%

2) 売上高

	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2019年2月20日)	
	売上高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品		
ユニット電源	11,721	△6.5%
オンボード電源	6,548	6.8%
ノイズフィルタ	838	△12.3%
P R B X製品	2,315	—
合計	21,422	9.2%

## (2) 財政状態に関する説明

2018年6月に株式取得した Powerbox International AB の影響等に伴い、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は450億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少いたしました。負債合計は47億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億93百万円減少いたしました。

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は210億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億98百万円減少いたしました。これは主に、有価証券が1億99百万円、たな卸資産が11億72百万円増加した一方で、現金及び預金が63億71百万円、受取手形及び売掛金が9億16百万円減少したことによるものであります。

固定資産は240億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億61百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が20億73百万円、のれん等の無形固定資産が34億21百万円、繰延税金資産が1億55百万円増加した一方で、投資有価証券が11億18百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は38億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億82百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が5億62百万円、短期借入金が2億90百万円増加した一方で、未払金が4億44百万円、未払法人税等が10億52百万円、賞与引当金が2億21百万円、製品保証引当金が1億76百万円減少したことによるものであります。

固定負債は8億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億88百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が1億4百万円、繰延税金負債が3億61百万円増加したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は403億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億56百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益19億52百万円及び剰余金の配当11億86百万円、自己株式の取得1億80百万円等により、株主資本が5億77百万円増加し、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が2億29百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2018年12月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,242,249	3,871,107
受取手形及び売掛金	9,188,221	8,271,597
有価証券	2,200,150	2,400,015
商品及び製品	1,087,264	1,965,855
仕掛品	93,502	279,112
原材料及び貯蔵品	2,798,310	2,906,954
その他	277,287	1,392,469
貸倒引当金	△4,956	△3,813
流動資産合計	25,882,029	21,083,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,692,112	5,516,538
減価償却累計額	△2,762,249	△2,854,401
建物及び構築物(純額)	929,863	2,662,137
機械装置及び運搬具	6,837,825	7,221,534
減価償却累計額	△5,033,214	△5,180,113
機械装置及び運搬具(純額)	1,804,611	2,041,421
工具、器具及び備品	5,564,439	5,800,761
減価償却累計額	△5,141,617	△5,257,908
工具、器具及び備品(純額)	422,822	542,852
土地	1,192,440	1,191,800
建設仮勘定	879,402	864,048
有形固定資産合計	5,229,140	7,302,261
無形固定資産		
ソフトウェア	83,905	65,569
技術資産	—	805,933
顧客関連資産	—	980,068
のれん	—	1,580,243
その他	10,173	83,908
無形固定資産合計	94,079	3,515,724
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	125,740	130,903
投資有価証券	13,229,699	12,110,777
繰延税金資産	428,345	583,868
その他	148,036	372,518
投資その他の資産合計	13,931,822	13,198,068
固定資産合計	19,255,041	24,016,053
資産合計	45,137,071	45,099,351

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,227,229	1,789,456
短期借入金	—	290,962
1年内返済予定の長期借入金	—	1,487
未払金	863,403	419,038
未払法人税等	1,110,245	57,279
賞与引当金	413,963	192,444
製品保証引当金	712,000	536,000
その他	402,222	559,882
流動負債合計	4,729,065	3,846,551
固定負債		
退職給付に係る負債	206,900	311,825
繰延税金負債	—	361,784
長期借入金	—	15,323
その他	159,133	165,718
固定負債合計	366,033	854,652
負債合計	5,095,099	4,701,203
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,288,350	2,279,881
利益剰余金	36,644,408	37,410,687
自己株式	△1,523,058	△1,703,675
株主資本合計	39,464,699	40,041,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	474,128	321,664
為替換算調整勘定	79,830	△429
退職給付に係る調整累計額	△3,857	△964
その他の包括利益累計額合計	550,101	320,270
非支配株主持分	27,171	35,983
純資産合計	40,041,972	40,398,147
負債純資産合計	45,137,071	45,099,351



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年5月21日 至 2018年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2019年2月20日)
売上高	19,626,974	21,422,909
売上原価	13,188,004	14,632,213
売上総利益	6,438,969	6,790,695
販売費及び一般管理費	2,868,557	3,741,439
営業利益	3,570,412	3,049,256
営業外収益		
受取利息	33,644	30,944
受取配当金	36,305	39,150
受取補償金	23,490	—
その他	45,831	34,327
営業外収益合計	139,271	104,421
営業外費用		
支払利息	—	20,547
為替差損	58,207	135,202
自己株式取得費用	—	332
その他	131	3,761
営業外費用合計	58,339	159,844
経常利益	3,651,344	2,993,834
特別利益		
固定資産売却益	625	16,237
受取保険金	—	124,700
特別利益合計	625	140,937
特別損失		
固定資産売却損	—	816
固定資産除却損	2,016	11,813
火災損失	—	140,321
特別損失合計	2,016	152,952
税金等調整前四半期純利益	3,649,953	2,981,818
法人税、住民税及び事業税	1,044,619	844,211
法人税等調整額	57,194	167,339
法人税等合計	1,101,813	1,011,551
四半期純利益	2,548,140	1,970,267
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,541	17,812
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,543,599	1,952,454

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年5月21日 至 2018年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2019年2月20日)
四半期純利益	2,548,140	1,970,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147,076	△152,464
為替換算調整勘定	91,956	△66,318
退職給付に係る調整額	△4,249	2,893
その他の包括利益合計	234,782	△215,889
四半期包括利益	2,782,923	1,754,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,776,610	1,735,619
非支配株主に係る四半期包括利益	6,312	18,758

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年1月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式158,700株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において単元未満株の買取による増加を含め自己株式が180,617千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,703,675千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2017年5月21日至2018年2月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	14,712,478	1,834,174	749,530	2,330,792	—	19,626,974	—	19,626,974
セグメント間 の内部売上高	3,523,388	—	—	—	890,599	4,413,988	△4,413,988	—
計	18,235,866	1,834,174	749,530	2,330,792	890,599	24,040,963	△4,413,988	19,626,974
セグメント利益	3,074,778	152,193	9,082	109,297	202,627	3,547,980	22,432	3,570,412

(注) 1. セグメント利益の調整額22,432千円は、セグメント間の取引消去33,534千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△11,102千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年5月21日至2019年2月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	14,278,314	1,851,974	3,300,444	1,992,175	—	21,422,909	—	21,422,909
セグメント間 の内部売上高	3,315,555	—	—	—	837,372	4,152,927	△4,152,927	—
計	17,593,869	1,851,974	3,300,444	1,992,175	837,372	25,575,837	△4,152,927	21,422,909
セグメント利益 又は損失(△)	2,747,317	236,037	△199,863	81,977	155,512	3,020,982	28,273	3,049,256

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額28,273千円は、セグメント間の取引消去23,955千円及び棚卸資産の未実現損益の消去4,317千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間に、Powerbox International ABの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことに伴い、報告セグメントを「ヨーロッパ販売事業」から「ヨーロッパ生産販売事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結会計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。